

内部障害を
持っています



ハート・プラス通信

～内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考える～

2014年11月20日 No.29 <秋号>

【配信元】NPO 法人 ハート・プラスの会

【連絡先】事務局 E-mail: info@heartplus.org FAX 052-718-1581

【ホームページ】<http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>

通常総会の報告

平成26年10月12日

第7回通常総会が平成26年10月12日に京都市中京区のハートピア京都 会議室にて開催されました。

当日は台風19号が接近し、一時は開催が危ぶまれましたが、さしたる影響もなく地元京都、大阪からはもとより遠くは東京、神奈川からも参加していただきました。

当日ご出席頂けなかった会員の皆様には、はがきでの意思表示をいただきました。ありがとうございます。

みなさまのご協力とご理解のもと、総会も無事に終了しましたので、結果等の報告をします。

司会は徳永理事、議長は田口理事のもと平成26年10月12日現在正会員数93名委任状数61通、当日参加11名で定刻午後1時30分から始まりました。

白井代表理事は天候と体調の都合により残念ながら欠席され、

司会より挨拶文の代読がありました。続いで議長の田口理事による議事進行により議事を進めました。議案は3議案、内容については加藤理事より説明がありました。

- 第一号議案 事業報告
- 第二号議案 事業計画
- 第三号議案 役員選任

全ての議案は全会一致で賛成され承認可決されました。



【出席者の記念撮影】



※参考事項…総会開催の必要出席者数…正会員数の半数の50以上

正会員総数：93名			審議事項					
項目			1号議案		2号議案		3号議案	
出席者内訳	当日出席	11	賛成	11	賛成	11	賛成	11
			反対	0	反対	0	反対	0
	代理人出席 (委任状)	26	賛成	26	賛成	26	賛成	26
			反対	0	反対	0	反対	0
	書面表決	35	賛成	35	賛成	35	賛成	34
			反対	0	反対	0	反対	1
出席正会員 合計	72	賛成	72	賛成	72	賛成	71	
		反対	0	反対	0	反対	1	
		棄権	0	棄権	0	棄権	0	
出席者の半数以上で総会成立			賛成過半数可決		賛成過半数可決		賛成3/4以上可決	

【第7回通常総会決議数】

代表理事の挨拶文

〔代表理事 白井〕

みなさま、平成25年度総会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

今年度は、普段の活動に加え長崎県立大学の吉田先生との共同研究、内部障害者への実態アンケート、国会での要望活動、内閣府の障害者週間セミナーなど、大きなイベントを皆さんとともに無事終了させることができました。

ここにいらつしやる会員さん、ならびにご指導・ご支援を賜りました関係各位のご協力のおかげと感謝しております。

任意団体を作った当初、インターネットで内部障害と打ち込んだでも、10件も検索できなかつたのが実状でした。
現在ではグーグルで約174万件ヒットします。

最近では、若い年代層での意識の変化と、内部障害をカミングアウトしやすい環境に若干なつたのではないかとの気配を感じることにあります。

このじわじわと増えていった数字はそれを表すものではないで

しょうか。昔、恩師より新しい概念や言葉を世の中に浸透させるにはその言葉を10年以上言い続ける努力が必要だとの言葉をいただきました。

当時は10年という年月を想像することすらできませんでしたが、現在はその年月の重みをヒシヒシと感じている次第です。

これからも、今以上に内部障害者が理解されよりよく暮らせる世の中を作るため皆様の、ご協力とご支援を宜しくお願いいたします。挨拶とさせていただきます。

以上

総会後は休憩を挟み交流会が開かれました、交流会には非会員の田中さんご一家も参加され建設的な意見や自身の貴重な体験を聴かせていただきました。

当日、出席・参加された方から投稿を頂きました。ご協力ありがとうございます。



参加された方からの投稿

「入会のきっかけ」

〔奈良 岩井さん〕

私の入会のきっかけは、当会会員の三名の方との偶然の出会いです。



今年6月8日私はオストミー協会全国大会出席の為、熊本へピーチにて行く途中、関空の第二ターミナルへ移動のバスの中で、「ハート・プラスマーク」をバッグに付けた女性に出会いました。私はおもわず「熊本のオストミー全国大会に行かれるのですが？」と声をかけていました。

私は以前より「ハート・プラスマーク」を知っていましたし、頭の中には、オストミー全国大会の事があり、てつきりオストミーの仲間だと思ったからです。

ところが、その女性の方が「私達は、福岡へハート・プラスの会の集会に行くのです。」と同行の二人の方も紹介され、名刺交換をさせて頂きました。

私にとっては「ハート・プラスマーク」は知っていましたが

「ハート・プラスの会」は知りませんでした。と云いますのも、オストミー協会でこんなマークがあると知り、ありがたくは思っていました。その活動をされている「ハート・プラスの会」があるとは、思ってもいませんでした。

そこで、私は「ハート・プラスの会」について情報を集め、偶然お会い出来た三名の方とメール交換させて頂き会の趣旨に賛同し、内部障害を持つ一人として、少しでも活動のお手伝いが出来ればと、入会させて頂きました。



【総会風景】

交流会に参加して!

〔大阪 田中さん〕

はじめまして:

田中ゆりと申します。

今回、私がハート・プラスを知りきっかけは:

昨年、春先から咳が、ひどく、日に日に苦しくなり、町医者にも幾つか、行きましたが原因が分からず、咳止めの薬で胃があれ、近くの救急病院で、胃カメラ検査をすることになり、病院へ!

ところが、検査を受けれる状態ではなく、今すぐに、できる検査を受けました。そこで分かったのは、肺炎と心臓の肥大でした。

即入院、その日の夜に心停止しました。処置がはやく、幸いにも後遺症などは、ありませんでした。その日からです毎日毎日、あと何年生きれるの?娘がせめて高校生になるまではなんて毎日思い、苦しい日が続きました。

恐ろしい不整脈は、その後今のところ、ありませんが、主治医3人と看護師さん、リハビリの先生に支えられ、話を聞いてもらい、そんな時に、一人の看護師さんから心臓病の会が確かあったはず、と言って退院までにちよつと調べ

てもらいました。

いくつかあるなかで、退院後、スマホで、いろいろ探し、ハート・プラスの会を見つけました。はじめは名古屋の会を見て、遠いなぁと思っていたら、大阪にもあることを、知りました。何度かミニ交流会の、ホームページを見たのですが、いつも都合がつかず、今年初めて参加させていただきました。

色々話を聞いて私だけでなく、心臓以外でも知らない病気があり、普段は誰にも分かって貰えない辛い思い、でもハート・プラスでは、自分の事のように、話を聞いて貰える。アドバイスを頂けたり、また悔しい思いをした事も:

今は、自分のやりたい事、悔いの残らない様にやる。あまり、先の事考えず、今だけを見る。

私の今のやりたいこと!
戦国武将が、大好きで、大阪の陣をがんばる。

小学生の娘がいるママです。年齢はナ・イ・シ・ヨ・です。



【戦国武将姿で記念撮影】

理事の挨拶

理事再任挨拶

〔理事 白井〕

再任となりました白井です。至らない部分もありますが宜しくお願ひします。

任意団体を作った当初、と比べますと最近では内部障害に対する若い年代層での意識の変化と、内部障害をカミングアウトしやすい環境になりつつある気配を感じています。

しかし4月に厚生労働省よりペースメーカー等の障害認定の見直しがありました。ペースメーカーで1級であった方が3級に降格した例はすでに出ています。

制度面での厳しさが今後増すと思われるだけに、内部障害者の基礎体力のなさを広く理解し的確に判断してもらわなければと感じています。

振り返るにはまだ早いかもしれませんが、この機会に会が始まった当時のことをみなさんに知っていただきたいと思います、印鑑のエピソードをご紹介します。

この活動は2003年にインターネット上での活動から始まりました。

所在地も何もない状態の中で、日本財団さんのノーマネットという無料スペースをお借りして2004年4月に現在のURLがある場所にホームページを引越しました。



多くのものが無料や無償ボランティアで支えることができたが、全く資金のない中で必要に迫られたのは意外なことに印鑑でした。

2004年の5月連休の頃、現在も会員である後藤京子さんよりどこかに募金をしよう和小銭を貯めたものがあるので良かったら使ってくださいとの嬉しいお申し出がありました。まだ未知数な会でしたがそのお気持ち有り難く受け、会として一番最初に購入した品となりました。

何日か事務局の加藤さんと相談し、「ハート・プラスの会の印」という約2センチの角印を作りま

した。角印を選んだのは銀行口座にも、要望書にも使えたからです。その後会はNPO法人となり、会の名称は変わりましたが「ハート・プラスの会の印は」今でも銀行口座の印鑑として活躍しています。

今年度から新理事として鈴木英司氏が加わりました。

これまで以上に内部障害者が理解されよりよく暮らせる世の中を作るため皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

理事就任にあたって

〔新任理事 鈴木〕



今期から理事を務めさせて頂いたことになりました。「頑張りましょう」と言いたいところですが、やりすぎて会に迷惑をかけてしまいそうなので、できる範囲で無理せず着実に職務を果たしていこうと考えています。

この会に関わって8年ほどになります。当初はなかなか普及が進まないで苛立つこともあ

りましたが、地道なことをやり続けることでも思いもよらぬところで追い風が吹くようになってきました。

小さなチャンスにひとつひとつ誠意をもって対応することで、私達に味方してくれる方が増えてきているように思います。

私は人との出会いやつながりを大切にしています。内部障害者になつたからこそ人脈も増えました。ハート・プラスマークの意味にもなっている「思いやりの心」を人から人へ増やしていくことが、結果的に私達への理解につながると思います。これからは頑張りずらずに少しずつ歩みを進めていきますので宜しくお願い致します。

理事再任挨拶

〔理事 清水〕

この度、理事再任の承認を頂きました清水です。

全国の会員の皆さまのおかげを勿まして、全国各施設へのハート・プラスマークの拡充と内部障害者に対する理解や援助も徐々に広がりとある昨今です。しかしアベノミクスを掲げる国の政策は

依然として私たちの日常生活には厳しい側面もあり、また年金制度をはじめとする社会保障の環境は目まぐるしく変わる今日でもあります。

このような憂いを感じながらも、それでも私たちは粘り強く、地道に声を上げ



続けていかなければなりません。私自身も、誠に微力では御座いますが会の一助と成れるよう、活動に取り組んでいく所存で御座います。どうぞ宜しくお願い致します。

理事再任挨拶

〔理事 徳永〕

昨年の総会で理事に途中任命されてはや、一年経ちました。

その間自分に出来る事を探しながらハート・プラスについての広報を機会があれば行ってきました。目に見える成果としては大阪府下の路線バスの優先座席にハート・プラスマークを貼ってもらえた事です。

これは自分の活動の成果ではなく一人の内部障害をお持ちの方が、総務省が開いている行政相談会に

見かけで判らない内部障害者に

ハート・プラスマークなどでたたく接して欲しいという相談をされて採用され、関係各所に通達を出されたのをきっかけに大阪バス協会に対してハート・プラスの会で作成したステッカーを提供し優先座席に貼ってもらえないかとお願した所、快く引き受けていただき大阪府下の路線バス約1800台に貼られました。

先日もあのステッカーのおかげで優先座席に座っても何も注意を受けなくなつたと喜びの声を聞かせてもらいました。

これからも機会があれば広報に努めたいと思っています。

〔活動報告〕

第12回寝屋川ふれあい

フェスタ

日時..平成26年11月8日
会場..寝屋川市立
市民活動センター

